

# 平成29年度事業報告

平成29年度において実施した事業について、以下のとおり報告します。

## 第1 組織運営

### 1. 会員の異動状況

平成29年3月31日現在	220社
平成29年度入会会員	11社
平成29年度退会会員	3社
平成30年3月31日現在	228社

### 2. 総会、理事会等の開催

#### (1) 定時総会

##### 第6回定時総会

日 時 平成29年6月8日(木) 16:00～

場 所 芝パークホテル

報告事項 (1) 平成28年度事業報告について

(2) 平成28年度公益目的支出計画実施報告について

(3) 平成29年度事業計画及び予算について

決議事項 第1号議案 平成28年度収支決算報告について

第2号議案 役員改選について

その他

#### (2) 理事会

##### 第1回理事会

日 時 平成29年5月23日(火) 13:30～

場 所 農業土木会館

議 題 ① 平成28年度事業報告について

② 平成28年度収支決算報告について

③ 平成28年度公益目的支出計画実施報告について

④ 役員改選について

- ⑤ 専門員の選任について
- ⑥ その他

#### 第2回理事会

- 日 時 平成29年6月8日(木) 14:30～
- 場 所 芝パークホテル
- 議 事 ① 第6回定時総会について
- ② その他

#### 第3回理事会

- 日 時 平成30年3月27日(火) 13:30～
- 場 所 農業土木会館
- 報告事項 ① 平成29年度事業報告(案)について
- ② 平成29年度決算見込について
- ③ 平成29年度公益目的支出計画実施見込みについて
- 議 題 ① 平成30年度事業計画(案)について
- ② 平成30年度収支予算(案)について
- ③ 定時総会の開催について
- ④ 会員の新規入会について
- ⑤ その他

#### (3) 委員会

##### ① 総務企画委員会

4回(5月11日、9月13日、2月5日、3月15日)開催し、理事会及び総会議案について審議した。

##### ② 広報委員会

3回(4月20日、7月7日、10月20日)開催し、機関誌「JAGREE」93号及び94号の編集方針の審議及び校正を行った。

#### 3. 諸規程の見直し

定款、部門・部会等に関する規程及び入会手続きの一部見直し等について、それぞれ検討を行った。

## 第2 事業の概要

### 1. 調査研究等

#### (1) コンサルタンツ部門

コンサルタンツ幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

##### <主な調査・検討事項>

ア 変化する設計業務等の環境に的確に対応するため、制度変更やその運用に関する課題、業務執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を実施し、以下について検討を行った。

(ア) 設計変更等に関する適切な措置について

(イ) 業務確認会議等の設置・運用について

(ウ) 発注者・設計者・施工者による工事円滑化会議への参加について

(エ) 入札契約制度の運用・業務歩掛・補正係数等についての継続課題

a 入札契約制度の適切な運用

b 品質確保対策関連での課題

c 歩掛り改善等に対する提案

d 業務実施環境改善に関する実態把握

e 実施設計後・工事実施中でのアフターフォロー対応について

イ 入札契約制度の運用等継続課題については、課題の改善に向けた専門部会を招集し、役割分担のうえ各作業項目について検討を行った。

##### <主な報告事項>

ア 実態調査結果をもとに、「調査・測量・設計」業務の品質確保等に関する改善方策について関係機関に提案を行った。

平成 29 年度 コンサルタンツ幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構 成 (名)	開 催 回数
(1) コンサルタンツ幹事会	7月18日、9月14日、10月10日、 12月 5日、2月27日	8	5
(2) 意見交換会 農林水産省	9月14日、2月27日		2

## (2) 水利施設保全管理補修部門

水利施設保全管理補修部会及び幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行った。

### <主な調査・検討事項>

- ア 昨年とりまとめた「農業水利施設保全補修ガイドブック（平成 28 年）」にその後の材料・工法メーカー等の新たな調査、材料、工法及び記載内容の変更等 22 技術について追補版として取りまとめた。
- イ 昨年に引き続き、同じ失敗を繰り返さないための補修工事の成功事例、不具合対応事例を会員から収集した。
- ウ ひび割れ補修について、ひび割れ補修の要否の判定、ひび割れ補修工法の選定要領の検討を行った。

### <主な報告事項>

- ア 平成 29 年 4 月に制定された「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル（パイプライン編）（案）」の策定要旨について、技術支援センター（関東農政局土地改良技術事務所内）による説明会を行った。
- イ 平成 30 年「農業水利施設保全補修ガイドブック」の取りまとめに当たって、現在策定中の「農業水利施設の補修・補強に関するマニュアル（鋼矢板水路腐食対策編）及び（水路トンネル編）」に合わせ、ガイドブックの構成と様式の再編を行った。

平成 29 年度水利施設保全管理補修部会等開催状況

名 称	開 催 日	構 成 (名)	開 催 回数
(1) 水利施設保全管理補修部会	5月12日	46	1
(2) 設計・積算・施工幹事会	12月 6日、1月31日	6	2

### (3) セメント製品部門

セメント製品幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

#### <主な調査・検討事項>

- ア 「鉄筋コンクリートフリーム規格」の見直し検討に当たり、会員に使用規格、使用地域などの使用状況についてアンケート調査を行った。
- イ 事業協会規格の「鉄筋コンクリートフリーム」（平成14年3月改定）に対するユーザー評価、改善点、現場での対応状況について主要会員より聞き取りを行った。

#### <主な報告事項>

- ア プレキャスト製品の活用を図るため、関係機関に「プレキャスト製品を活用した施工事例集」（平成29年3月）の周知及び現場打ちとの工法比較検討にあたって、現場条件等も考慮した総合工法比較を行うよう提案を行った。

平成29年度セメント幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1)セメント製品部会幹事会	6月6日、7月20日、11月28日 1月23日、3月19日	5	5
(2)意見交換会 農林水産省	6月6日、8月3日、3月19日		3

### (4) ポンプ部門、鉄構部門、電機機械部門

#### <主な調査・検討事項>

- ア 施設機械3部門における工事執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を行った。
- イ 国営事業で造成された排水ポンプ施設について、災害協定の基礎資料である諸元等をまとめた「国営排水ポンプ施設調書」の更新を行った。

#### <主な報告事項>

- ア 施設機械3部門における実態把握調査結果をもとに、関係機関に工事発注方法等について提案を行った。(意見交換会 農林水産省 9月21日)

## 2. 研修等

### (1) 農業水利施設機能総合診断士制度

既存の農業水利施設の機能維持及び保全管理を図るため、農業水利施設機能総合診断士の講習会及び認定試験を実施し、農業水利施設の機能診断・機能保全計画を適切かつ効率的に実施できる技術者を「機能総合診断士」として認定。

また、機能総合診断士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

#### ア 講習会・認定試験の実施

##### 平成 29 年度 講習会・認定試験実施状況

名 称		開 催 日	申込者数 (名)
講習会	東京会場	平成 29 年 9 月 25 日～9 月 27 日 (3 日間)	58
認定試験	東京会場	平成 29 年 11 月 25 日	66
	京都会場	平成 29 年 11 月 25 日	40

認定試験結果：受験者数 97 名 合格者 50 名 (合格率 51.5%)

農業水利施設機能総合診断士合格者 累計 746 名

#### イ 関係委員会の実施

##### 平成 29 年度 関係委員会開催状況

委員会名	構成(名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	3
講習委員会	9	2
試験委員会	6	5

#### ウ 登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録及び登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、提出された業務経験等レポート及び JAGREE 学習レポートを審査し、一定水準に達した者について更新を行った。

新規登録者 49 名、 更新登録者 113 名

農業水利施設機能総合診断士登録者 累計 658 名

## エ 登録者名簿の公表

ストックマネジメント業務の診断に機能総合診断士の活用を図るため、「農業水利施設機能総合診断士 登録者名簿」をホームページに公表した。

## (2) 農業水利施設補修工事品質管理士制度

農業水利施設の補修工事の施工及び施工管理に関わる現場技術者を育成するため、農業水利施設補修工事品質管理士の講習会及び認定試験を実施し、補修材料の品質規格及び補修工事の施工技術を習得した技術者を「品質管理士」として認定。

また、品質管理士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

### ア 講習会・認定試験の実施

#### 平成 29 年度 講習会・認定試験実施状況

名 称		開 催 日	申込者数 (名)
講習会	仙台会場	平成 29 年 7 月 3 日～ 4 日 (2 日間)	84
	東京会場	平成 29 年 6 月 15 日～16 日 (2 日間)	59
	京都会場	平成 29 年 6 月 26 日～27 日 (2 日間)	58
	福岡会場	平成 29 年 6 月 19 日～20 日 (2 日間)	68
認定試験	仙台会場	平成 29 年 9 月 2 日	95
	東京会場	平成 29 年 9 月 2 日	54
	京都会場	平成 29 年 9 月 2 日	68
	熊本会場	平成 29 年 9 月 2 日	82

認定試験結果：受験者数 290 名 合格者 176 名 (合格率 60.7%)

農業水利施設補修工事品質管理士合格者 累計 1,029 名

### イ 関係委員会の実施

#### 平成 29 年度 関係委員会開催状況

委員会名	構 成 (名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	3
講習委員会	8	2
試験委員会	5	2

#### ウ 登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録及び登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、インターネット公開講座の視聴及び実務経験等レポートの提出のあった者について更新を行った。

新規登録者 172 名、 更新登録者 79 名

農業水利施設補修工事品質管理士登録者 累計 955 名

#### エ 登録者名簿の公表

補修工事の施工に品質管理士の活用を図るため、「農業水利施設補修工事品質管理士登録者名簿」を作成し、ホームページに公表した。

### (3) 地方協会等活動への支援

#### ア 地方協会が行う要請活動等への参画

地方協会による要請活動等へ参画し、活動支援を行った。

#### イ 地方協会が行った要請活動内容のとりまとめ

地方協会の要望提案事項を取りまとめ、情報の共有化を図るため地方協会に配布した。

### (4) 働き方改革への対応

働き方改革に関する会員の取り組み状況について、会員のうちコンサルタント部門を対象に試行的に調査を実施し、実施状況を把握した。

### (5) 他団体活動への協力

(公社) 農業農村工学会、全国農村振興技術連盟、農業土木技術研究会等の主催する研修会に参加した。

## 3. 広報活動

### (1) 機関誌「JAGREE」の発行

機関誌「JAGREE」93号及び94号を各2,000部発行し、会員及び関係機関、団体に配布した。



## (2) 会員名簿の発行

平成 29 年度版の協会 8 部門の会社名及び地方協会担当者を掲載した会員名簿を会員に配布した。

## 4. 災害協定

「災害時の応急対策業務に関する協定書」の第 4 条（業務の実施体制等）に基づく今年度の連絡体制及び実施体制を定め地方農政局長に報告するとともに、地震等の大規模な自然災害の発生時に土地改良施設である排水機場等の災害の対応に備えた。

## 5. 図書刊行事業

平成 29 年度は、「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル（パイプライン編）（案）」、「農業水利施設保全補修ガイドブック（平成 28 年追補版）」を発刊するとともに、「農業水利施設の機能保全の手引き【開水路編】」ほか 11 種類の専門図書を頒布した。